



年間授業計画

高等学校 令和7年度 教科 地理歴史 科目 日本史探究

教科：地理歴史 科目：日本史探究 単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 1組～6組

教科担当者：

使用教科書：（詳説日本史 山川出版）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第11章 近代から近世へ 【知識及び技能】 幕府の滅亡、旧幕勢力の変化についての経過を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面の変化と関連して考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。	開国と幕末の動乱 幕府滅亡と新政府の発足 ・教科書、資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 欧米諸国の進出とアジアの変化について資料を適切に読み取り、日本社会の変化を理解している。 【思考・判断・表現】 政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の開国による社会的影響について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	第12章 近代国家の成立 【知識及び技能】 明治維新や立憲国家の成立について多面的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 欧米文化・思想の導入と近代化政策に対する影響について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 現在の憲法との違いを踏まえて問いを立てることができる。	明治維新と富国強兵 立憲国家の成立 ・教科書、資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 明治政府による中央集権化の諸政策と文明開化の風潮について諸資料から情報を読み取って理解している。 【思考・判断・表現】 諸制度の改革が地域社会にもたらした変化や欧米諸国の文化の影響などを多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新によって生じた諸課題について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	20
定期考査			○	○		1	
2 学 期	第13章 近代国家の発展の展開 【知識及び技能】 不平等条約の改正や日清・日露戦争、ワシントン体制への発展した過程について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦前後の政治的動向や国際状況の変化について日本の立場から考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 朝鮮の問題や政治内閣の成立など現代と結び付けて主体的に追究する。	日清・日露戦争と国際関係 第一次世界大戦と日本 ワシントン体制 ・教科書、資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 日清・日露前後における条約改正などについて諸資料から情報を読み取り日本の国際的地位の変化を理解している。 【思考・判断・表現】 大戦中の日本の動向を踏まえ、アジア地域への影響や民族意識の高まりについて多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 当時の日本外交が与える影響やその課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	第14章 近代の産業と生活 【知識及び技能】 資本主義国家の確立された家庭について近代産業の発展を踏まえ理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近代産業の発展による社会問題の発生と近代文化の特色について多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 大衆文化や労働問題など現代の諸課題につなげて探究する。	近代産業の発展 近代文化の発達 市民生活の変容と大衆文化 ・教材 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 産業の発達の影響から当時の社会問題や文化の様子について諸資料から情報を読み取り理解している。 【思考・判断・表現】 地域社会の変化を踏まえて労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 産業発展による社会問題への対応について自ら主体的に追究しようとしている。	○	○	○	20
定期考査			○	○		1	
3 学 期	第15章 恐慌と第二次世界大戦 【知識及び技能】 戦後恐慌による国内経済の動揺と軍部の政治台頭と、第二次世界大戦の各国の動きについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社会主義運動の高揚と国家主義、全体主義な国家体制の進展を、社会などの面から多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦の学習から平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。	恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦 ・教科書、資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 国際社会やアジアとの関係を踏まえ戦争の長期化について諸資料を適切に読み取り、第二次世界大戦の展開について理解している。 【思考・判断・表現】 日本における思想の変化や全体主義的な国家体制の進展について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 第二次世界大戦期の国際関係について主体的に課題を追究しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	合計						105



年間授業計画

高等学校 令和7年度

教科 数学

科目 数学Ⅲ

教科 数学

科目 数学Ⅲ

単位数 4

単位

対象学年組 第 3 学年

1 組～

6 組

教科担当者

使用教科書 (数研出版 新編 数学Ⅲ)

教科 数学

の目標

【知識及び技能】

基本的な計算問題を正確に解く処理能力を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】

問題解決の道筋を考えたり説明ができるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】

演習やワークシートに積極的に取り組み、数学の面白さを知らうとする。

科目 数学Ⅲ

の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
極限、微分法及び積分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学的にとらえたり、数学的に処理する力を身につける。	数値や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり関数間の係をより深くとらえて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質に着目し、問題解決の過程や結果を振り返って総合的・発展的に考察したりする力を身につける。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、数学的論議に基いて判断しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識及び技能】</p> <p>①分数関数、無理関数の定義を理解し、グラフをかく。 ②逆関数の定義や求める手順を理解し、様々な関数の逆関数を求める。 ③数列の極限値の定義を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①関数のグラフと直線の共有点の座標を、連立方程式の実数解に読み替え、グラフを利用することで、分数不等式、無理不等式を解く。 ②逆関数の定義から、逆関数の定義域・値域や性質を考察する。 ③収束する数列の極限値の性質を理解し、数列の極限を求める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①難易度の高い問題に積極的に取り組む。</p>	<p>・分数関数 ・無理関数 ・逆関数と合成関数 ・数列の極限</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>関数の定義を理解し、グラフをかくことができる。種々の関数の逆関数を求めることができる。数列の極限値の定義を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>関数のグラフと直線の共有点の座標を、連立方程式の実数解に読み替えることができる。グラフを利用することで、分数不等式・無理不等式を解くことができる。逆関数の定義域・値域や性質を考察することができる。簡単な数列の収束、発散を調べ、極限を求めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>グラフと直線について、共有点の座標の意味を考え、その求め方を考察しようとする。不等式の解の意味を考え、グラフを用いて考察しようとする。数列の不定形を解消するように工夫して変形しようとする。</p>	○	○	○	24
1 学期 中間考査			○	○	○	1
<p>【知識及び技能】</p> <p>①無限等比数列の収束・発散を利用して、様々な数列の極限を求める。 ②無限級数の和とは、部分和の作る数列の極限であることを理解し、収束、発散を調べる。 ③簡単な関数の極限を求める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①無限等比数列を、公比の値で場合分けし、極限を考察する。 ②不定形を解消するように工夫して式を変形し、関数の極限を求める。 ③直感的に中間値の定理を理解し、それを用いて方程式の実数解の存在を考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①難易度の高い問題に積極的に取り組む。</p>	<p>・無限等比数列 ・無限級数 ・関数の極限 ・関数の連続性</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>無限等比数列の収束・発散を利用して、様々な数列の極限を求めることができる。無限級数の和とは、部分和の作る数列の極限であることを理解し、無限級数の収束、発散を調べることができる。簡単な関数の極限を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>無限等比数列を、公比の値で場合分けし、極限を考察することができる。不定形を解消するように工夫して式を変形し、関数の極限を求めることができる。中間値の定理を用いて方程式の実数解の存在を考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>「無限に近づく」ということを、数学的に定義する方法を理解しようとする。関数の不定形を解消するように工夫して変形しようとする。</p>	○	○	○	32
1 学期 期末考査			○	○	○	1
<p>【知識及び技能】</p> <p>①微分可能性と連続性の関係を理解し、導関数の定義を理解し、定義に基づいて微分する。 ②高次導関数の定義、表記を理解し、種々の関数の高次導関数を求める。 ③媒介変数 <math>t</math> で表された関数の導関数を、<math>t</math> の関数として表す。 ④微分係数の意味を理解し、接線の方程式を求める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①三角関数、指数関数、対数関数の導関数を理解し、種々の関数の導関数を計算する。 ②導関数と、微分係数から得られる新しい関数として理解する。 ③直線の垂直条件から、法線の方程式を求める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①難易度の高い問題に積極的に取り組む。</p>	<p>・微分係数と導関数 ・導関数の計算 ・いろいろな関数の導関数 ・第 <math>n</math> 次導関数 ・直線の方程式と導関数 ・接線の方程式</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>微分可能性と連続性の関係を理解し、導関数を定義に基づいて求めることができる。高次導関数の定義、表記を理解し、種々の関数の高次導関数を求めることができる。媒介変数 <math>t</math> で表された関数の導関数を、<math>t</math> の関数として表すことができる。接線の方程式を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>三角関数、指数関数、対数関数の導関数を理解し、種々の関数の導関数を計算できる。導関数と、微分係数から得られる新しい関数として理解することができる。直線の垂直条件から、法線の方程式を求めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>微分係数の図形的意味を考察しようとする。様々な導関数の性質や計算方法に興味をもち、具体的な問題に取り組もうとする。</p>	○	○	○	30
2 学期 中間考査			○	○	○	1
<p>【知識及び技能】</p> <p>①関数の極大値・極小値や最大値・最小値を増減表を書いて考察し、極大値・極小値を求める。 ②曲線の凹凸の定義を理解し、第 2 次導関数の符号で曲線の凹凸を判定する。 ③運動する点の速度、速さ、加速度の定義を理解し、それらを求める。 ④種々の関数の近似式を作り、近似値を求める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①方程式 <math>f(x) = a</math> の実数解の個数を、関数のグラフと直線の共有点の個数に読み替えて考察する。 ②導関数を利用して、不等式を証明する。 ③不等式の形から、平均値の定理を利用するための関数及び区間を考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①難易度の高い問題に積極的に取り組む。</p>	<p>・関数の値の変化 ・関数のグラフ ・方程式、不等式への応用 ・速度と加速度 ・近似式</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>増減表を書いて考察し、関数の極大値・極小値・最大値・最小値を求めることができる。第 2 次導関数の符号で曲線の凹凸を判定することができる。運動する点の速度、速さ、加速度の定義を理解し、それらを求めることができる。種々の関数の近似式を作り、近似値を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>方程式 <math>f(x) = a</math> の実数解の個数を、関数のグラフと直線の共有点の個数に読み替えて考察することができる。導関数を利用して、不等式を証明することができる。不等式の形から、平均値の定理を利用するための関数及び区間を考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>関数のグラフの様々な形に興味をもち、様々な方法でそれを調べようとする。方程式や不等式を関数の観点からとらえ、解決しようとする。</p>	○	○	○	32
2 学期 期末考査			○	○	○	1
<p>【知識及び技能】</p> <p>①不定積分、定積分の定義や性質を理解し、それを利用して種々の関数の不定積分、定積分を計算する。 ②被積分関数の形の特徴から、置換積分法や部分積分法を利用して、不定積分を求める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①グラフの上下関係、積分範囲などを図を書いて考察し、定積分を用いて面積を求める。 ②回転体の体積を求める方法を理解し、回転体の体積を求める。 ③絶対値を含む関数の定積分が面積を表していると考え、定積分の計算を考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①難易度の高い問題に積極的に取り組む。</p>	<p>・不定積分とその基本性質 ・置換積分法と部分積分法 ・いろいろな関数の不定積分 ・定積分とその基本性質 ・置換積分法と部分積分法 ・定積分のいろいろな問題 ・面積 ・体積</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>不定積分、定積分の定義や性質を理解し、それを利用して種々の関数の不定積分、定積分を計算することができる。被積分関数の形の特徴から、置換積分法や部分積分法を利用して、不定積分を求めることができる。グラフの上下関係、積分範囲などを図を書いて考察し、定積分を用いて面積を求めることができる。回転体の体積を求める方法を理解し、回転体の体積を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>グラフの上下関係、積分範囲などを図を書いて考察し、定積分を用いて面積を求めることができる。回転体の体積を求める方法を理解し、回転体の体積を求めることができる。絶対値を含む関数の定積分が面積を表していると考え、定積分の計算を考察することができる。上端、下端が <math>x</math> である定積分を <math>x</math> の関数とみることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>置換積分法・部分積分法により、複雑な関数の定積分を求めることに興味・関心を示す。体積を計算するには断面積を表す関数を積分すればよいことに興味・関心をもち、考察しようとする。</p>	○	○	○	17
3 学期 学年末考査			○	○	○	1
			○	○	○	合計 140



高等学校 令和7年度（3学年用） 教科

理科 科目 化学

教科：理科

科目：化学

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 選択

教科担当者：

使用教科書：（東京書籍 化学

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】 定期考査において各単元の知識、理解度から判断する。

【思考力、判断力、表現力等】 定期考査において各単元の思考力から判断する。

【学びに向かう力、人間性等】 実験、実習において積極性、正確性、協調性から判断する。

科目 化学

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
定期考査において各単元の知識、理解度から判断する。	定期考査において各単元の思考力から判断する。	実験、実習において積極性、正確性、協調性から判断する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	酸・塩基 【知識及び技能】 酸・塩基を定義できる 【思考力、判断力、表現力等】 酸・塩基の働きを理解できる 【学びに向かう力、人間性等】 実験から酸・塩基の働きを正しく導くことができる。	・酸・塩基 ・酸素の授受と酸塩基 ・水素の授受と酸塩基	【知識・技能】 考査 【思考・判断・表現】 考査 【主体的に学習に取り組む態度】 実験態度、実験レポート、提出物	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	酸・塩基の強弱 【知識及び技能】 酸・塩基の強弱を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 電離度から酸・塩基の強弱を計算できる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験において酸・塩基の濃度を求められる。	・酸・塩基の強弱 ・pHの意味 ・中和滴定	【知識・技能】 考査 【思考・判断・表現】 考査 【主体的に学習に取り組む態度】 実験態度、実験レポート、提出物	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
2 学 期	酸化・還元 【知識及び技能】 酸化・還元を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 酸化・還元を電子の授受と関連できる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験において酸化還元反応を正しく導ける	・酸化と還元 ・電子の授受 ・酸化還元滴定	【知識・技能】 考査 【思考・判断・表現】 考査 【主体的に学習に取り組む態度】 実験態度、実験レポート、提出物	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	金属の酸化還元反応 【知識及び技能】 金属のイオン化傾向を理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 金属の反応性を判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験において電池を作ることができる。	・イオン化傾向 ・酸との反応性 ・電池	【知識・技能】 考査 【思考・判断・表現】 考査 【主体的に学習に取り組む態度】 実験態度、実験レポート、提出物	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
3 学 期	高分子化合物 【知識及び技能】 高分子化合物を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 高分子化合物の特徴を見分けられる。 【学びに向かう力、人間性等】 実験において高分子化合物を合成できる。	・高分子化合物の分類 ・天然高分子化合物 ・スクロースとマルトースの還元性	【知識・技能】 考査 【思考・判断・表現】 考査 【主体的に学習に取り組む態度】 実験態度、実験レポート、提出物	○	○	○	13
	定期考査						1
							合計
							70





年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用）教科

外国語 科目 英語コミュニケーションⅢ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅢ

単位数： 4 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：

使用教科書： ( All Aboard!! English Communication Ⅲ (東京書籍) )

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】

外国語の音声や辞彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し方や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

外国語の育成にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自発的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅢ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
支援をほとんど必要としなくても、英語を聞いたり、読んだり、やり取りしたり、発表したり、書いたりするための知識・技能を身につける。	支援をほとんど必要としなくても、英語を聞いたり、読んだり、やり取りしたり、発表したり、書いたりするための思考・判断・表現力を身につける。	積極的に英語を聞いたり、読んだり、やり取りしたり、発表したり、書いたりしようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準（抜粋）	知	思	態	記 時 数
		聞	読	話 (一 言 一 句)	書					
1 学 期	Lesson1 Gift to Barcelona 【知識及び技能】 単元に設定されている文法事項について、基本的な使い方と意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単元の内容について読みながら、内容に関して自分の意見や相手の意見を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容について積極的に理解しようとし、自らの考えを深める。	◆指導事項 文法事項：to不定詞/動名詞 内容：ガウディとその作品 ◆教材 教科書、ワークブック、オリジナルプリント、プレゼンテーションソフト等	○	○	○	○	○	○	○	14
	Lesson2 Akkamu 【知識及び技能】 単元に設定されている文法事項について、基本的な使い方と意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単元の内容について読みながら、内容に関して自分の意見や相手の意見を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容について積極的に理解しようとし、自らの考えを深める。	◆指導事項 文法事項：現在完了 内容：エゾモモンガとアイヌの人々 ◆教材 教科書、ワークブック、オリジナルプリント、プレゼンテーションソフト等	○	○	○	○	○	○	○	14
	Lesson3 Your True Colors 【知識及び技能】 単元に設定されている文法事項について、基本的な使い方と意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単元の内容について読みながら、内容に関して自分の意見や相手の意見を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容について積極的に理解しようとし、自らの考えを深める。	◆指導事項 文法事項：使役動詞 内容：自己表現とファッション ◆教材 教科書、ワークブック、オリジナルプリント、プレゼンテーションソフト等	○	○	○	○	○	○	○	15
	Lesson4 Our Future Food? 【知識及び技能】 単元に設定されている文法事項について、基本的な使い方と意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単元の内容について読みながら、内容に関して自分の意見や相手の意見を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容について積極的に理解しようとし、自らの考えを深める。	◆指導事項 文法事項：受け身 内容：昆虫食 ◆教材 教科書、ワークブック、オリジナルプリント、プレゼンテーションソフト等	○	○	○	○	○	○	○	15
	定期考査						○	○	○	1
2 学 期	Lesson5 Madagascar 【知識及び技能】 単元に設定されている文法事項について、基本的な使い方と意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単元の内容について読みながら、内容に関して自分の意見や相手の意見を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容について積極的に理解しようとし、自らの考えを深める。	◆指導事項 文法事項：関係代名詞 内容：マダガスカルと自然 ◆教材 教科書、ワークブック、オリジナルプリント、プレゼンテーションソフト等	○	○	○	○	○	○	○	16
	Lesson6 The Mystery of the Terraottia Warriors 【知識及び技能】 単元に設定されている文法事項について、基本的な使い方と意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単元の内容について読みながら、内容に関して自分の意見や相手の意見を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容について積極的に理解しようとし、自らの考えを深める。	◆指導事項 文法事項：関係代名詞の非制限用法 内容：古代中国と兵馬俑 ◆教材 教科書、ワークブック、オリジナルプリント、プレゼンテーションソフト等	○	○	○	○	○	○	○	16
	定期考査						○	○	○	1
	Lesson7 Green Challenges 【知識及び技能】 単元に設定されている文法事項について、基本的な使い方と意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単元の内容について読みながら、内容に関して自分の意見や相手の意見を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容について積極的に理解しようとし、自らの考えを深める。	◆指導事項 文法事項：比較表現 内容：地球温暖化と再生可能エネルギー ◆教材 教科書、ワークブック、オリジナルプリント、プレゼンテーションソフト等	○	○	○	○	○	○	○	15
	Lesson8 Witnesses of War 【知識及び技能】 単元に設定されている文法事項について、基本的な使い方と意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単元の内容について読みながら、内容に関して自分の意見や相手の意見を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容について積極的に理解しようとし、自らの考えを深める。	◆指導事項 文法事項：分詞の形容詞的用法 内容：原爆と路面電車 ◆教材 教科書、ワークブック、オリジナルプリント、プレゼンテーションソフト等	○	○	○	○	○	○	○	15
定期考査						○	○	○	1	
3 学 期	Lesson9 The Wonders of Lightning 【知識及び技能】 単元に設定されている文法事項について、基本的な使い方と意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 単元の内容について読みながら、内容に関して自分の意見や相手の意見を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容について積極的に理解しようとし、自らの考えを深める。	◆指導事項 文法事項：仮定法過去 内容：雷の不思議 ◆教材 教科書、ワークブック、オリジナルプリント、プレゼンテーションソフト等	○	○	○	○	○	○	○	15
	定期考査						○	○	○	1

合計 140

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用）教科

外国語 科目 論理・表現Ⅱ

教科： 外国語 科目： 論理・表現Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組 ~ 6 組

教科担当者：

使用教科書： ( Harmony English Logic and Expression II (いづな書店) )

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

外国語の音声の聴取、発音、文法、意味の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けることとする。  
コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、目的別や状況別や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これを活用して適切に表現したりし、伝えたりすることができる力を養う。  
外国語の書かれた文章に対する理解を深め、聞き手、読み手、書き手に配慮しながら、主体的、自発的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既  
有の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念  
等として理解したり、技能を習得したりしている。  
知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思  
考力、判断力、表現力等を身に付けている。  
知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を  
身に付けたりすることに強い粘り強い取組の中で、自らの  
学習を調整しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価標準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 ( 一 人 一 書)	書					
1 学 期	Lesson 1 During Spring Vacation 【知識及び技能】 現在形・過去形・未来の表現の理解 【思考力、判断力、表現力等】 最近の出来事について説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 質疑応答や生徒同士の学びあい	・指導事項 現在形・過去形・未来の表現 Narrative ・教材 教科書/サブノート/英文プリント/小 テスト/Exerciseプリント ・一人1台端末の活用 必要に応じて適宜情報収集/英作文の作 成/発表活動での利用		○	○	○	○	○	○	○	6
	Lesson 2 My Favorite Star 【知識及び技能】 現在完了形・過去完了形の理解 【思考力、判断力、表現力等】 現在完了形・過去完了形などを用いて伝 えたり、相手からの質問に答えたりでき る。 【学びに向かう力、人間性等】 質疑応答や生徒同士の学びあい	・指導事項 現在完了形・過去完了形 Description ・教材 教科書/サブノート/英文プリント/小 テスト/Exerciseプリント ・一人1台端末の活用 必要に応じて適宜情報収集/英作文の作 成/発表活動での利用		○	○	○	○	○	○	○	8
	定期考査										1
	Lesson 3 My Career Path 【知識及び技能】 助動詞の理解 【思考力、判断力、表現力等】 助動詞を適切に用いて、さまざまな職業 について説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 質疑応答や生徒同士の学びあい	・指導事項 助動詞 Example ・教材 教科書/サブノート/英文プリント/小 テスト/Exerciseプリント ・一人1台端末の活用 必要に応じて適宜情報収集/英作文の作 成/発表活動での利用		○	○	○	○	○	○	○	7
	Lesson 4 Talking about Japanese Culture 【知識及び技能】 受動態の理解 【思考力、判断力、表現力等】 受動態を適切に用いて、日本の建造物に ついて説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 質疑応答や生徒同士の学びあい	・指導事項 受動態 Description ・教材 教科書/サブノート/英文プリント/小 テスト/Exerciseプリント ・一人1台端末の活用 必要に応じて適宜情報収集/英作文の作 成/発表活動での利用		○	○	○	○	○	○	○	7
定期考査											1
2 学 期	Lesson 5 Disaster Prevention 【知識及び技能】 不定詞(名詞用法・形容詞用法・副詞用 法)の理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な不定詞を使った表現を用いて伝え たり、相手からの質問に答えたりでき る。 【学びに向かう力、人間性等】 質疑応答や生徒同士の学びあい	・指導事項 不定詞(名詞用法・形容詞用法・副詞用 法) Process ・教材 教科書/サブノート/英文プリント/小 テスト/Exerciseプリント ・一人1台端末の活用 必要に応じて適宜情報収集/英作文の作 成/発表活動での利用		○	○	○	○	○	○	○	7
	Lesson 6 Town Planning 【知識及び技能】 不定詞を使った表現の理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な不定詞(名詞用法・形容詞用法・ 副詞用法)を用いて伝えたり、相手から の質問に答えたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 質疑応答や生徒同士の学びあい	・指導事項 不定詞を使った表現 Reason ・教材 教科書/サブノート/英文プリント/小 テスト/Exerciseプリント ・一人1台端末の活用 必要に応じて適宜情報収集/英作文の作 成/発表活動での利用		○	○	○	○	○	○	○	8
	定期考査										1
	Lesson 7 Foods and Culture 【知識及び技能】 動名詞の理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な動名詞を用いて伝えたり、相手か らの質問に答えたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 質疑応答や生徒同士の学びあい	・指導事項 動名詞 Cause and Effect ・教材 教科書/サブノート/英文プリント/小 テスト/Exerciseプリント ・一人1台端末の活用 必要に応じて適宜情報収集/英作文の作 成/発表活動での利用		○	○	○	○	○	○	○	8
	Lesson 8 ICT and Universal Design 【知識及び技能】 分詞の理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な分詞を用いて伝えたり、相手から の質問に答えたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 質疑応答や生徒同士の学びあい	・指導事項 分詞 Example ・教材 教科書/サブノート/英文プリント/小 テスト/Exerciseプリント ・一人1台端末の活用 必要に応じて適宜情報収集/英作文の作 成/発表活動での利用		○	○	○	○	○	○	○	8
定期考査											1
3 学 期	Lesson 9 World Peace 【知識及び技能】 関係代名詞の理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な関係代詞を用いて伝えたり、相 手からの質問に答えたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】 質疑応答や生徒同士の学びあい	・指導事項 関係代名詞 Narrative ・教材 教科書/サブノート/英文プリント/小 テスト/Exerciseプリント ・一人1台端末の活用 必要に応じて適宜情報収集/英作文の作 成/発表活動での利用		○	○	○	○	○	○	○	6
	定期考査										1
合 計										70	

年間授業計画

大山 高等学校 令和7年度（3学年用）教科

国語 科目 国語演習B A

教科： 国語

科目： 国語演習B A

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：

使用教科書： （『正しく読み・解くための力をつける現代文ステップ2』（数件出版））

教科 国語

の目標：

- 【知識及び技能】 言語活動を通し、漢字や語句、文意の明確化や文章の構成といった事項に関わる知識や技能を高める。
- 【思考力、判断力、表現力等】 言語活動の特質を理解し、自ら思考し意見を相手に伝える表現力を付け、自己の能力として定着させる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に言語文化や言語感覚についての学習に取り組み、能力を高め、可能性を広げる。

科目 国語演習B A

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
小論文を書く上で必要となる語彙を豊かにし、適切な表現方法を身に付ける。	小論文及び面接、集団討議における重要事項を理解し、自ら考え適切に表現する能力を高める。	言語活動に積極的に取り組むことによって、言語活動の向上を図る態度や自主的に学び続ける姿勢を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書 読					
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 演習（語彙力、長文読解） ・文章読解 1 コケはなぜ美しい 2 多様性は人間だけのものか	○	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通し語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていないか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。	○	○	○	12
	B 単元 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 演習（語彙力、長文読解） ・教材 3 現代思想講義 4 社会の中で生きている	○	○	○	【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	12
2 学 期	E 単元 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 演習（語彙力、長文読解） ・教材 3 鉄道員 4 庭の南瓜	○	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通し語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていないか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。	○	○	○	14
	F 単元 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 演習（語彙力、長文読解） ・教材 5 哲学の使い方 6 これからのロボット倫理学	○	○	○	【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	14
3 学 期	G 単元 標準編 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながらいずれも把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。	・指導事項 演習（長文問題） ・文章読解 7 政と源 8 三十一文字のパレット	○	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通し語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていないか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。	○	○	○	18
						【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。				合計 70

年間授業計画

大山 高等学校 令和7年度（3学年用）教科

国語 科目 国語演習A D

教科： 国語

科目： 国語演習A D

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：

使用教科書： ( )

教科 国語

の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深め、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 国語演習A D

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
検証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	書	読					
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 演習（語彙力、長文読解） ・文章読解 1 日本人とアイデンティティ 2 日本の文化構造	○	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通し語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていますか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1 台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。 【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	12
	B 単元 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 演習（語彙力、長文読解） ・教材 3 遊びと文化 4 うわさとは何か、科学者という仕事	○	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通し語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていますか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1 台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。 【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	12
2 学 期	E 単元 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 演習（語彙力、長文読解） ・教材 3 りん、りん、りん 朝、自転車 の音がした 4 雨をわたる	○	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通し語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていますか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1 台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。 【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	14
	F 単元 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	・指導事項 演習（語彙力、長文読解） ・教材 5 黒い裾 6 利休の死 利休の闇	○	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通し語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていますか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1 台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。 【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	14
3 学 期	G 単元 標準編 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしなから要旨を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。	・指導事項 演習（長文問題） ・文章読解 大学入試共通テスト過去問 大学2次試験過去問 ・教材 過去問より抜粋	○	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通し語彙が増えているか。 話し言葉と書き言葉の特徴を理解するとともに、使い分けができていますか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深い読み取り、論考ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1 台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。 【方法】 小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	18
	合計									
70										



年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典演習

教科： 国語

科目： 古典演習

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：

使用教科書： （ 『高等学校 標準古典探究』（第一学習社） ）

教科 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を伸ばし、伝える力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできる。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。

科目 古典演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにすること。	古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすること。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	書	読					
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す。 自動詞と他動詞を分類する。品詞の種類を識別する。	○	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか、助動詞の意味と活用を理解し、判別できているか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深く読み取り、論考ができていくか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。	○	○	○	9
	B 単元 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	漢文の助字・置き字・再読文字のある文を書き下し文に直す。	○	○	○	【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	8
	定期考査					○	○		1	
	C 単元 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	形容詞・形容動詞・助動詞「る・らる・す・さす・しむ」「き・けり・つ・ぬ・たり・り」「む・らむ・けむ」	○	○	○		○	○	○	10
定期考査						○	○		1	
2 学 期	E 単元 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	助動詞「まほし・たし」・格助詞・接続助詞・係助詞・副助詞・終助詞	○	○	○	【知識・技能】 語句の意味調べ等を通して、語彙が増えているか、助動詞の意味と活用を理解し、判別できているか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深く読み取り、論考ができていくか。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題について自主的に調べたり周囲の意見を聞いたりし、学びを深めようとしているか。 1台端末を有効的に活用し、知識や情報を的確に取捨選択することができるか。	○	○	○	12
	F 単元 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容や解釈を評価し、自分の考えを深める。	大学入学共通テスト対策問題（古文・漢文）	○	○	○	【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	10
	定期考査					○	○		8	
	定期考査						○	○		1
3 学 期	【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。	大学入学共通テスト対策問題（古文・漢文）	○	○	○	【知識・技能】 語彙が増えているか。助動詞の意味と活用を理解し、判別できているか。 【思考・判断・表現】 学習課題についてより深く読み取り、論考ができていくか。 【方法】 定期考査、小テスト、提出課題、出席状況、授業態度。	○	○	○	9
	定期考査								1	
合計										
70										





年間授業計画

高等学校 令和7年度

教科

地理歴史

科目 日本史演習Ⅱ

教科：地理歴史

科目：日本史演習Ⅱ

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～6組 選択者

教科担当者：

使用教科書：（詳説日本史 山川出版）

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地味的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史演習Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	第5章 院政と武士の躍進 【知識及び技能】 院政の始まりと平氏政権の誕生の経過を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 院政の課題と保元平治の乱の背景を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 武家政権誕生の経過を考察し、その影響を表現する。	院政の始まり 院政と平氏政権	【知識・技能】 院政への転換と平氏政権誕生について資料を適切に読み取り、社会の変化を理解している。 【思考・判断・表現】 政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 院政と平氏政権の課題について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
	第6章 鎌倉政権の成立 【知識及び技能】 鎌倉政権の誕生と朝廷との関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 鎌倉政権の成立時期をめぐる諸説に関して、それぞれの根拠を明確にして考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 鎌倉政権誕生の経過を考察し、その影響を表現する。	鎌倉幕府の成立	【知識・技能】 源平争いから鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解している。 【思考・判断・表現】 幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究し、前の時代とのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	第6章 武家政権の成立 【知識及び技能】 鎌倉政権の発展と元寇の背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 鎌倉幕府の構成と元寇の影響を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 鎌倉政権の成立と衰退を考察し、その影響を表現する。	武士の社会 モンゴル襲来と幕府の衰退 鎌倉文化	【知識・技能】 承久の乱が幕府と朝廷との関係に与えた影響について、諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 鎌倉時代の生産の発達と商品の流通、東アジア情勢や国内での貨幣経済の発達とその意義について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 鎌倉時代の宗教や文化にみられる平安時代からの特徴の継承や差異について、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	14
定期考査			○	○		1	
2 学期	第7章 武家社会の成長 【知識及び技能】 琉球・蝦夷ヶ島を含む東アジアとの交流が中世日本にもたらした影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本地域の動向などを踏まえて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 室町政権の成立と発展を考察し、その影響を表現する。	室町幕府の成立	【知識・技能】 鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解している。 【思考・判断・表現】 南北朝の動乱などにみられる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	第7章 武家社会の成長 【知識及び技能】 諸産業の発達による庶民の台頭を踏まえて、中世社会の多様な展開を幅広く理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことを踏まえて、幕府の動揺や下剋上の風潮を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 室町幕府の衰退を考察し、その影響を表現する。	幕府の衰退と庶民の台頭 室町文化	【知識・技能】 諸産業や流通、地域経済が成長したことに着目し、諸資料から情報を読み取り、庶民が台頭して村などの自治的な単位が成立したことを理解している。 【思考・判断・表現】 自治的な村の単位や一揆の組織が成立した要因と背景について、地理的な条件や流通など経済活動との関わりを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 室町時代の宗教や文化の特徴について、鎌倉時代との比較を通じて類似点や差異を見出そうとしている。	○	○	○	14
定期考査			○	○		1	
3 学期	第7章 武家社会の成長 【知識及び技能】 戦国大名の誕生の意味と都市の発展の経過について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 応仁の乱以降、地方権力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について、諸地域の地理的条件と関連づけを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 戦国大名の登場と民衆の生活を考察し表現する。	戦国大名の登場	【知識・技能】 守護大名と戦国大名の権力の相違点などについて諸資料から情報を読み取り、戦国時代の名目による領国経営の特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 戦国大名による富国強兵策に着目して領国統治の特色を諸資料から考察し、堺や博多など都市の発展にみられる戦国時代の社会の多様性を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 15世紀から16世紀にかけて争乱が多発した理由など、戦国時代を中心とする歴史の展開に関わる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
						合計	70





- 【知識及び技能】 基本的な計算問題を正確に解く処理能力を身につける。  
 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決の道筋を考えたり説明ができるようにする。  
 【学びに向かう力、人間性等】 演習やワークシートに積極的に取り組み、数学の面白さを知ろうとする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数Ⅰ・Aの基礎知識を理解し、基本問題を正しく解く力を養う。また各種公式を正しく活用することができるようにする。	基礎知識を正しく生かし、難易度の高い問題を解く力を養う。また自分の考えを数式や言葉を用いて記述・表現する力を養う。	数学を活用しようとする態度、数学的論拠に基いて判断しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識及び技能】</p> <p>①基本的な展開の問題を解くことができる。                      ②基本的な因数分解の問題を解くことができる。                      ③与えられた2次関数を正しく平方完成できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①文字の置き換えを利用した展開の問題を解くことができる。                      ②複数の文字が混じり合った式を正しい手順に従って因数分解することができる。                      ③与えられた2次関数の頂点座標や軸の方程式を求めることができ、グラフをかくことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①クラスメイトに質問したり、端末からヒントを得て、難易度の高い問題に積極的に取り組もうとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>式の展開の基本</li> <li>式の展開の応用</li> <li>因数分解の基本</li> <li>因数分解の応用</li> <li>2次関数の基本</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ワークシート</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 提出物（ワークシート） 行動観察</p>	○	○	○	11
中間考査			○	○	○	1
<p>【知識及び技能】</p> <p>①与えられた2次関数のグラフを描き、最大値・最小値を求めることができる。                      ②2次不等式の基本問題を解くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①与えられた2次関数のグラフを描き、定義域に従って最大値・最小値を求めることができる。                      ②2次不等式の応用問題を解くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①クラスメイトに質問したり、端末からヒントを得て、難易度の高い問題に積極的に取り組もうとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次関数の最大・最小</li> <li>2次関数の応用</li> <li>2次不等式の基本</li> <li>2次不等式の応用</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ワークシート</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 提出物（ワークシート） 行動観察</p>	○	○	○	11
期末考査			○	○	○	1
<p>【知識及び技能】</p> <p>①重心・外心・内心の性質を用いて、具体的な問題を処理できる。                      ②チェバ・メネラウスの定理を用いて、線分比を求めることができる。                      ③円に内接する四角形の性質を用いて、角の大きさを求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①図形の性質を証明するのに、間接的な証明法である同一法を適用することができる。                      ②三角形の外接円と四角形の外接円の違いを認識し、円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接する条件を理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①クラスメイトに質問したり、端末からヒントを得て、難易度の高い問題に積極的に取り組もうとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図形の性質</li> <li>三角形の性質</li> <li>重心・外心・内心</li> <li>チェバ・メネラウスの定理</li> <li>円の性質</li> <li>円周角と中心角</li> <li>内接する四角形</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ワークシート</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 提出物（ワークシート） 行動観察</p>	○	○	○	14
中間考査			○	○	○	1
<p>【知識及び技能】</p> <p>①円の接線の性質を用いて、辺や線分の長さを求めることができる。                      ②方べきの定理を用いて、線分の長さを求めることができる。                      ③2円の位置関係に5つの場合があることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①円と直線の位置関係に3つの場合があることを理解している。                      ②接線と弦の作る角についての定理の証明方法を理解する。                      ③2円の位置関係を、動的な面から観察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①クラスメイトに質問したり、端末からヒントを得て、難易度の高い問題に積極的に取り組もうとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図形の性質</li> <li>円の性質</li> <li>円と接線</li> <li>接弦定理</li> <li>方べきの定理</li> <li>2つの円</li> <li>数学と人間の活動</li> <li>約数・倍数</li> <li>素数と素因数分解</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ワークシート</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 提出物（ワークシート） 行動観察</p>	○	○	○	12
期末考査			○	○	○	1
<p>【知識及び技能】</p> <p>①総合問題の基礎問題を解くことができる。                      【思考力、判断力、表現力等】                      ①総合問題の応用問題を解くことができる。                      【学びに向かう力、人間性等】                      ①クラスメイトに質問したり、端末からヒントを得て、難易度の高い問題に積極的に取り組もうとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数学ⅠA総合問題</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ワークシート</p> <p>【思考・判断・表現】 ワークシート、行動観察</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 提出物（ワークシート） 行動観察</p>	○	○	○	17
学年末考査						1
						合計
						70





教科： 芸術 科目： 陶芸  
 対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組  
 教科担当者：  
 使用教科書： ( )

単位数： 2 単位

教科 芸術 の目標：  
 【知識及び技能】 芸術に関する特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。  
 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。  
 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【知識及び技能】 陶芸の技法や物の形の捉え方、基本的な道具の使い方を理解し、適切に表現することができる。	【思考力、判断力、表現力等】 制作時の立体表現において実際に使うことを前提とした機能性を考え、表現することができる。	【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
---	---	--

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価標準	知	思	態	記 当 単 数
		絵 ・ 影	デ ザ イ ン	映						
1 学 期	A 陶芸① 【知識及び技能】 造形前の荒練りや菊練りの技法を理解し、技能を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 陶芸粘土の特性を理解し、機能性を加味したデザインを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 質の高い作品を作ろうとする姿勢。	・陶芸粘土の特性の説明 ・荒練り、菊練り指導	○			・観察したものを平面上に表現するために必要な技術がみについている。【知識及び技能】 ・モチーフを表現するのに適切な構図、鉛筆の濃淡やタッチで描くことができる。【思考力、判断力、表現力】 ・描くことに主体的に取り組み、美術的な感性を高めることができる。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	16
	B 鑑賞 【知識及び技能】 地方によって異なる陶芸粘土について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 機能性を考えたうえでの独創的なデザインを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主題を選び、工夫して制作できる。	・指導事項 陶芸作品を鑑賞する ・教材 参考作品	○			・鉛筆の使い方、画面構成など、制作に必要な要素を習得できている。【知識及び技能】 ・主題が適切且つ効果的に伝わる構図になっている。【思考力、判断力、表現力】 ・主題を選び、それを表現するために、意欲的に制作に励んでいる。【学びに向かう力、人間性等】	○		○	1
	C 陶芸② 【知識及び技能】 板づくり、紐づくりの技法を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 陶芸粘土の特性を理解し、機能性を加味したデザインを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 質の高い作品を作ろうとする姿勢。	・板づくり、紐づくりの技術指導	○			・観察したものを平面上に表現するために必要な技術がみについている。【知識及び技能】 ・モチーフを表現するのに適切な構図、鉛筆の濃淡やタッチで描くことができる。【思考力、判断力、表現力】 ・描くことに主体的に取り組み、美術的な感性を高めることができる。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	16
	D 鑑賞 【知識及び技能】 陶芸粘土による表現方法について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 機能性を考えたうえでの独創的なデザインを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主題を選び、工夫して制作できる。	・指導事項 人の作品を鑑賞する ・教材 参考作品	○			・鉛筆の使い方、画面構成など、制作に必要な要素を習得できている。【知識及び技能】 ・主題が適切且つ効果的に伝わる構図になっている。【思考力、判断力、表現力】 ・主題を選び、それを表現するために、意欲的に制作に励んでいる。【学びに向かう力、人間性等】	○		○	1
2 学 期	E 陶芸③ 【知識及び技能】 電動ろくろによる制作の技法を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 陶芸粘土の特性を理解し、機能性を加味したデザインを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 質の高い作品を作ろうとする姿勢。	・電動ろくろによる指導	○			・観察したものを平面上に表現するために必要な技術がみについている。【知識及び技能】 ・モチーフを表現するのに適切な構図、鉛筆の濃淡やタッチで描くことができる。【思考力、判断力、表現力】 ・描くことに主体的に取り組み、美術的な感性を高めることができる。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	31
	F 鑑賞 【知識及び技能】 陶芸粘土による表現方法について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 機能性を考えたうえでの独創的なデザインを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主題を選び、工夫して制作できる。	・指導事項 人の作品を鑑賞する ・教材 参考作品	○			・鉛筆の使い方、画面構成など、制作に必要な要素を習得できている。【知識及び技能】 ・主題が適切且つ効果的に伝わる構図になっている。【思考力、判断力、表現力】 ・主題を選び、それを表現するために、意欲的に制作に励んでいる。【学びに向かう力、人間性等】	○		○	1
3 学 期	G 鑑賞 【知識及び技能】 陶芸粘土による表現方法について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 機能性を考えたうえでの独創的なデザインを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主題を選び、工夫して制作できる。	・指導事項 人の作品を鑑賞する ・教材 参考作品	○			・観察したものを平面上に表現するために必要な技術がみについている。【知識及び技能】 ・モチーフを表現するのに適切な構図、鉛筆の濃淡やタッチで描くことができる。【思考力、判断力、表現力】 ・描くことに主体的に取り組み、美術的な感性を高めることができる。【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	4
										合 計
										70













年間授業計画

高等学校令和 7 年度（3 学年用）

教科 情報 科目 情報 I 演習

教科：情報 科目：情報 I 演習

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：

使用教科書：（最新 情報 I 実教出版）

教科 情報

の目標：

【知識及び技能】演習を通して情報機器などの効果的な活用法と情報社会との関わり方について理解できる。

【思考力、判断力、表現力等】演習の中から問題の発見・解決に向けて主体的に収集、判断、発信して適切に応用することができる。

【学びに向かう力、人間性等】情報技術を適切に活用することができるよう演習を活用して主体的に取り組むことができる。

科目 情報 I 演習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
演習から問題の発見・解決をするための知識と情報活用の技能を身に付け情報化社会についての理解を深め理解しているか。	問題の発見・解決に対して情報と情報技術を適切で活用できるよう演習を効果的に用いることができるか。	演習から主体的に情報と情報技術を活用し、その結果を評価し改善することができるか。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	画像制作実習 【知識及び技能】 ・ 画像編集技術とツールを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ デザイン意図を明確に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 創造的な表現に挑戦する姿勢を養う。	・ インタフェースについて理解する。 ・ ファイルについて理解する。 ・ ツールについて理解する。 ・ レイヤーについて理解する。	【知識・技能】 ・ 画像編集の基本操作ができる。 【思考・判断・表現】 ・ 表現意図に応じたデザインができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 自ら工夫し、改善に取り組む。	○	○	○	10
	動画制作実習 【知識及び技能】 ・ 撮影・編集技術を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 構成を考え、効果的に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ チームで協力し制作を進める。	・ タイムラインについて理解する。 ・ エフェクトについて理解する。 ・ エンコードについて理解する。 ・ ビットレートについて理解する。 ・ コーデックについて理解する。 ・ フレームについて理解する。	【知識・技能】 ・ 撮影・編集技術を適切に活用できる。 【思考・判断・表現】 ・ 目的に合った映像表現ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ グループで積極的に協働する。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
2 学 期	プログラミング基礎 【知識及び技能】 ・ 基本的なコードの記述を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 論理的に考え、動作を制御する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 問題解決に粘り強く取り組む。	・ 順次型処理について理解する。 ・ 分岐型処理について理解する。 ・ 繰り返し処理について理解する。	【知識・技能】 ・ 基本的なプログラムを正しく記述できる。 【思考・判断・表現】 ・ エラーを分析し修正できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 自ら試行錯誤し、理解を深める。	○	○	○	10
	ゲーム制作実習（単体） 【知識及び技能】 ・ ゲーム開発の基本を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 仕様を考え、適切に実装できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 独創的なアイデアを形にする力を養う。	・ 関数について理解する。 ・ 配列について理解する。 ・ 処理を一括にする。	【知識・技能】 ・ 基本的なゲーム機能を実装できる。 【思考・判断・表現】 ・ アイデアを工夫し、魅力的に表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 仕様を改良し、完成度を高める。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
3 学 期	ゲーム制作実習（グループ） 【知識及び技能】 ・ 複数のデータを連携させる技術を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ チームで分担し、効率的に開発する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 協力しながら品質を向上させる。	・ 会話イベントを作る。 ・ ステージを制御、描画する。 ・ 自機を作成する。	【知識・技能】 ・ 複数のファイルを適切に統合できる。 【思考・判断・表現】 ・ 役割分担し、計画的に開発できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ チームで積極的に協力・改善する。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		70
							合計

